

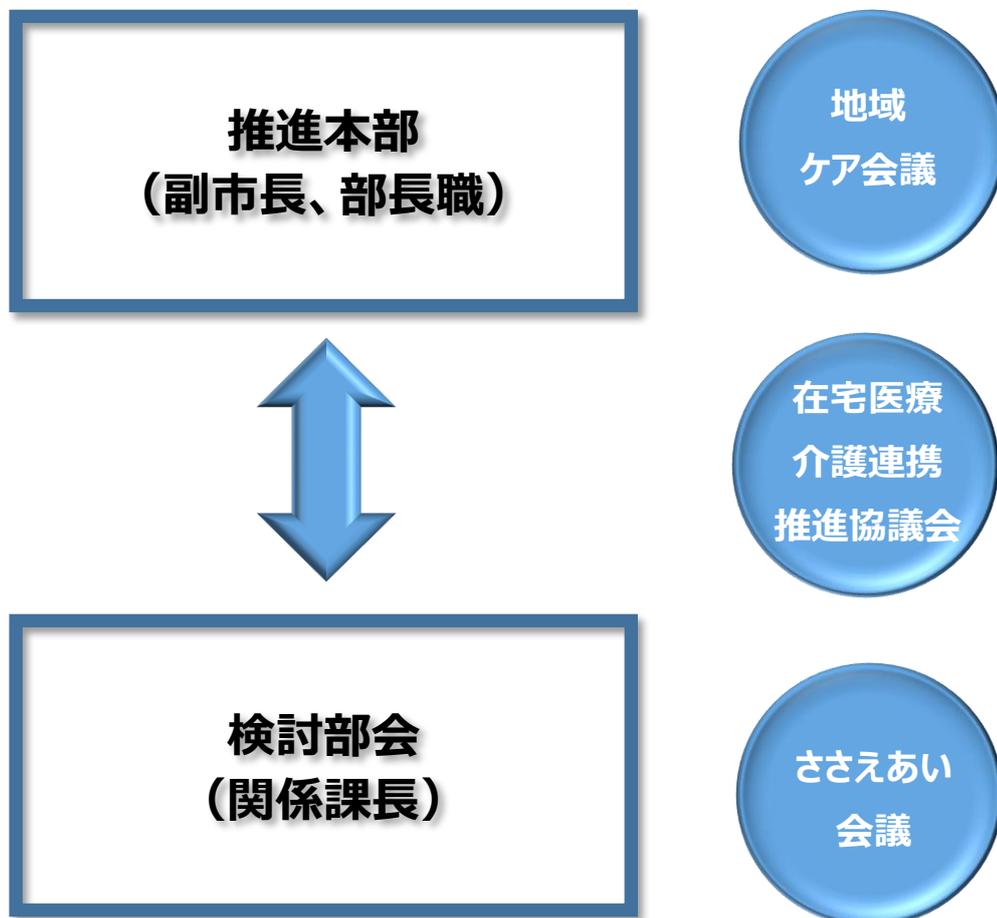
地域包括ケア推進本部の設置について

令和2年7月
根室市市民福祉部

【地域包括ケア推進の考え方】

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の5つの要素を切れ目なく提供するため、分野を超え全庁的な連携体制による横断的な取組みを推進することを目的に、根室市地域包括ケア推進本部を設置します。

推進本部は、副市長及び部長職で構成し、その傘下に、関係課の課長職で構成する検討部会を設置し、地域ケア会議やささえあい会議、在宅医療介護連携推進協議会等で把握した地域課題の共有及び具体的な対応策の検討を行いたいと考えています。



【現状と課題】

- ✓ 今後の人口構造、生産人口の推移を考えた時に、根室市で生まれ育った若者が必ずしも働き手として戻ってこない。高齢者介護の分野においては支える（ケアする）人材が不足することは明らか。
- ✓ 高齢化と言われるが、地域に高齢者が増えることが問題ではなく、認知症になるまで長生きできるようになった現状に真正面から向き合うことが必要。
- ✓ 「どんな地域になれば、どんなケアがあれば、安心して暮らせるか」目指す地域像を具体的にイメージし、実践していけるよう、関係する職員全員が共通認識を持って取り組むことが必要。